

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報									
事務事業名	005 キャラクターを活用したPR事業								
戦略プラン					担当部課 係名	市長公室広報戦略課 政策情報発信係			
総合戦略					新規・継続	継続			
					事業分類	任意的事務			
予算科目	01-020104-12 シティプロモーションに要する経費			市民参加	<input checked="" type="checkbox"/> 共有、理解 <input type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 評価・検証				
要求区分		事業期間							
個別計画									
根拠法令				事業体制	職員のみ				
				市長公約					
概要									
事業の目的				事業の概要					
つくば市イメージキャラクター「フックン船長」をいかして、市のPR、イメージアップを図る。				・イメージキャラクター「フックン船長」の画像使用の許諾及び着ぐるみの貸出を行う。					
評価									
事業計画				活動実績					
<ul style="list-style-type: none"> つくば市イメージキャラクターフックン船長デザイン使用取扱要綱に基づき、使用の承諾を行う。 つくば市着ぐるみ貸出要項に基づき、着ぐるみを貸し出す。 着ぐるみに損傷がないかなど、良好な状態で貸し出せるように適切な管理を行う。 				<ul style="list-style-type: none"> 着ぐるみの貸出し：71回（庁外27回、庁内44回） デザイン使用申請：83回（庁外22件、庁内61件） フックン船長（1体）クリーニング 					
成果				課題					
庁内、庁外を問わず様々なイベントに着ぐるみが活用され、キャラクターの周知とつくば市のPRを行うことができた。イベントの様子をフックン船長インスタグラムに投稿し、キャラクターの活動を広く周知することができた。				悪天候時の使用については、事前に使用方法について確認する必要がある。					
改善目標（R02年度にむけて）									
足下がぬかるんでいる場合などの悪天候時は、事前に使用方法を確認し、適切な管理を行う。									
指標の推移									
1	指標名	着ぐるみ貸出回数					(回)		活動指標
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	
	目標値	30.0	150.0	150.0	150.0	150.0	90.0	90.0	
	実績	168.0	120.0	121.0	98.0	179.0	71.0	0.0	
	指標の概要	イメージキャラクター「フックン船長」及びシンボルキャラクター「ツクツク」貸出回数 ※R1年度は、「着ぐるみ貸出回数」、「デザイン使用申請回数」の2つの指標で管理していく。							
2	指標名	デザイン使用申請回数					(回)		活動指標
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	80.0	80.0	
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	83.0	0.0	

	指標の概要	イメージキャラクター「フックン船長」及びシンボルキャラクター「ツクツク」デザイン使用申請回数						
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移							
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)	
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0	
	県支出金	(千円)	0	0	0	0	
	地方債	(千円)	0	0	0	0	
	その他	(千円)	0	21	0	0	
	一般財源	(千円)	0	615	135	0	
事業費計		(千円)	0	636	135	0	
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.10	0.10			
		時間外勤務 (時間)	0.00	10.00			
	臨時職員等	(有無)	無	無			
人件費		(千円)	706	704			
事業コスト		(千円)	706	1,340			

R02年度当初積算根拠	<ul style="list-style-type: none"> ・需要費 43千円 フックン船長着ぐるみ修繕 43千円 ・備品購入費 92千円 フックン船長宇宙飛行応援メッセージ用ボード 92千円
-------------	---

予算の方向性	理由	フックン船長ぬいぐるみの購入費用が減額になったため。
縮小		

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報										
事務事業名	006 つくば総合インフォメーションセンター（交流サロン）管理運営事業									
戦略プラン					担当部課	市長公室広報戦略課				
総合戦略	Ⅲ	1	(1)	つくば駅周辺地区のにぎわい創出	係名	政策情報発信係				
	Ⅲ	2	(3)	シティプロモーションの推進	新規・継続	継続				
					事業分類	任意的事務				
予算科目	01-020104-13 総合インフォメーションセンター交流									
要求区分				事業期間	市民参加	<input checked="" type="checkbox"/> 共有、理解 <input type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input type="checkbox"/> 実行 <input checked="" type="checkbox"/> 評価・検証				
個別計画						事業体制	一部委託			
根拠法令					市長公約	69				
概要										
事業の目的					事業の概要					
<p>観光・イベントや市政、筑波研究学園都市等、様々な情報発信を通して、市のイメージアップにつなげる。 交流の場の提供を通して、センター地区の賑わい創出に寄与する。</p>					<p>・チラシやパンフレット、書籍等を書棚に置くとともに、PR画像の放映など様々な情報発信を行う。 ・打ち合わせや、待ち合わせ、休憩など気軽に利用できる場を提供する。 ・大学や研究機関と連携してセミナーやイベントを開催する。 ※行政改革アクションプラン「89 つくば総合インフォメーションセンター交流サロンの運営」該当事業</p>					
評価										
事業計画					活動実績					
<ul style="list-style-type: none"> 利用状況のデータ収集を実施し、利用規約の整備や、施設の活用方法を検討する。 体験型の催事を充実させる他、様々な催事を数多く開催し、参加者、来館者を増加させ、センター地区の賑わい創出を図っていく。 					<ul style="list-style-type: none"> 市民や庁内各部署、市内の大学や研究機関等と連携して、市内企業のCSR活動や医療に関する体験型イベント等、様々な催事を行った。→ 催事回数161回、参加者数11,374人 主催事業 <ol style="list-style-type: none"> 親子でペーパークラフト講座 8回 親子で科学実験工作 10回 つくばちびっこ博士 7,542人(7/20~8/31) 共催事業 つくばメディカル塾 6回 中心市街地活性化事業 つくばストリートピアノ設置 ※総来館者数 40,265人 					
成果					課題					
<p>大学や研究機関等と連携し、多くの催事や展示を行った。その内容は科学分野に限らず、学生や親子を対象とした医療やアート体験講座など多岐に渡り、結果として様々な方々に市の魅力を発信できた。また、東京五輪のスイス選手団の事前キャンプ地であるため、同国の特色などをパネル等で紹介し、気運醸成を図ることができた。</p>					<p>平成27年(2015年)9月に開館し、今年で5年が経過する。5年という節目において、より一層の利用促進に向けた仕掛けが必要である。</p>					
改善目標（R02年度にむけて）										
さらなる魅力の発信に向け、イベント開催時などにおいてSNSでの発信(事前・事後)を関係各課と連携のうえ実施する。										
指標の推移										
1	指標名	1年間の来館者数					(人)		活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	27,000.0	33,000.0	38,000.0	40,000.0	44,000.0		
	実績	0.0	15,731.0	29,379.0	39,106.0	41,478.0	40,265.0	0.0		
	指標の概要									
2	指標名						()			
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	9,818	9,818	9,818	0
	一般財源	(千円)	11,258	12,454	12,946	0
事業費計		(千円)	21,076	22,272	22,764	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	1.00	1.10		
		時間外勤務 (時間)	163.00	80.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	7,462	7,659		
事業コスト		(千円)	28,538	29,931		

R02年度当初積算根拠	・報償費 200千円	→ 講師謝礼 10千円×10回×2人
	・需用費 1,763千円	→ 体験イベント材料及びチラシ印刷 121千円 光熱水費 1,584千円 ほか
	・役務費 288千円	→ インターネット通信料 262千円 ほか
	・委託料 10,502千円	→ 運營業務委託 9,020千円 ほか
	・使用料及び賃借料 10,011千円	→ 交流サロン賃借料9,999千円 ほか

予算の方向性	理由
維持	

方向性	
市民ニーズ	4 十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み	
進捗状況	4 計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか	
市の関与	2 今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について	
優先度	2 継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか	

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	6,502	5,745	5,792	0
事業費計		(千円)	6,502	5,745	5,792	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.20	0.10		
		時間外勤務 (時間)	28.00	50.00		
	臨時職員等	(有無)	有	無		
人件費		(千円)	1,482	802		
事業コスト		(千円)	7,984	6,547		

R02年度当初積算根拠	<ul style="list-style-type: none"> 委託料 5,792千円 広報番組制作・放送委託料 					
-------------	---	--	--	--	--	--

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移

項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	1,042	488	495	0
事業費計		(千円)	1,042	488	495	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.20	0.20		
		時間外勤務 (時間)	20.00	70.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	1,462	1,530		
事業コスト		(千円)	2,504	2,018		

R02年度当初積算根拠	<ul style="list-style-type: none"> ・需要費 495千円 市勢ガイド印刷製本 					
-------------	---	--	--	--	--	--

予算の方向性	理由	R2年度は改訂の年度であったが、増刷に変更になったため。
縮小		

方向性		
市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移							
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)	
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0	
	県支出金	(千円)	0	0	0	0	
	地方債	(千円)	0	0	0	0	
	その他	(千円)	0	0	0	0	
	一般財源	(千円)	0	0	0	0	
事業費計		(千円)	0	0	0	0	
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.40	0.20			
		時間外勤務 (時間)	90.00	70.00			
	臨時職員等	(有無)	無	無			
人件費		(千円)	3,047	1,530			
事業コスト		(千円)	3,047	1,530			

R02年度当初積算根拠							
-------------	--	--	--	--	--	--	--

予算の方向性	理由	
維持		

方向性		
市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移							
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)	
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0	
	県支出金	(千円)	0	0	0	0	
	地方債	(千円)	0	0	0	0	
	その他	(千円)	0	0	0	0	
	一般財源	(千円)	0	0	0	0	
事業費計		(千円)	0	0	0	0	
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.10	0.10			
		時間外勤務 (時間)	0.00	30.00			
	臨時職員等	(有無)	有	有			
人件費		(千円)	706	753			
事業コスト		(千円)	706	753			

R02年度当初積算根拠							
-------------	--	--	--	--	--	--	--

予算の方向性	理由	
維持		

方向性		
市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報								
事務事業名	011 ホームページ運用・管理							
戦略プラン					担当部課 係名	市長公室広報戦略課 政策情報発信係		
総合戦略					新規・継続	継続		
					事業分類	任意的事務		
予算科目	01-020104-11 広報広聴活動に要する経費				市民参加	<input checked="" type="checkbox"/> 共有、理解 <input type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 評価・検証		
要求区分		事業期間						
個別計画								
根拠法令					事業体制	一部委託		
					市長公約			
概要								
事業の目的				事業の概要				
つくば市ホームページで正確かつ迅速な情報発信を行うため。また、ホームページを常に見やすい状態に保つため。				<ul style="list-style-type: none"> ・トップページ管理、2次承認実施、研修、電話等による作成アドバイスを随時行う。 				
評価								
事業計画				活動実績				
<ul style="list-style-type: none"> ・2次承認（文言やアクセシビリティ等の確認）、トップページ管理を毎日実施する。 ・トップページの見やすさやシステムの機能改善などについて随時検討を実施する。 				<ul style="list-style-type: none"> ・2次承認、トップページの管理を毎日実施した。 ・災害時のHPについて、フューチャーインにCMS「TsuNaGo」の見直しを要望した。 				
成果				課題				
速やかに情報発信を行うとともに、市民の関心が高い記事についてはトップページの「お知らせ」スペースやカルーセルパネルを活用し、周知を図った。				<ul style="list-style-type: none"> ・アクセシビリティガイドラインが順守されていないケースが見受けられるため、作成者及び承認者に周知を図る必要がある。 ・災害時のHPについて、引き続きフューチャーインとの調整を行う。 				
改善目標（R02年度にむけて）								
トップページ管理を引き続き行い、アクセシビリティガイドラインについての周知を図る。災害時のHPについての見直しを行うとともに、フューチャーインとの調整を図り、速やかな情報発信に努める。								
指標の推移								
1	指標名	つくば市ウェブサイト内の「サイト検索」セッション数（件）					活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	110,000.0	115,000.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	105,262.0	117,569.0	0.0
	指標の概要	Google analytics「サイト内検索」のセッション数の向上を図り、ワード検索者の市ウェブサイト内の当該情報へのアクセス向上につなげる。						
2	指標名	ホームページアクセス数（件）					活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	12,500,000.0	13,000,000.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	22,176,551.0	24,346,316.0	26,154,270.0	26,831,286.0	10,526,456.0	13,288,613.0	0.0

	指標の概要	全ページへのアクセス数(PV)の年間合計数※H30年度より運営委託先の変更によりPVカウント手法も変更となったため日額が不可。指標はH30年度で終了。						
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	1,955	1,052	1,029	0
事業費計		(千円)	1,955	1,052	1,029	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.50	1.00		
		時間外勤務 (時間)	41.00	350.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	3,631	7,645		
事業コスト		(千円)	5,586	8,697		

R02年度当初積算根拠	<ul style="list-style-type: none"> 委託料 1,029千円 ホームページ修正業務委託料 809千円 イベントカレンダー管理運営委託料 220千円 					
-------------	--	--	--	--	--	--

予算の方向性	理由
維持	

方向性	
市民ニーズ	4 十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み	
進捗状況	4 計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか	
市の関与	2 今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について	
優先度	2 継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか	

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	660	660	0	0
	一般財源	(千円)	33,826	56,060	0	0
事業費計		(千円)	34,486	56,720	0	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	4.00	2.30		
		時間外勤務 (時間)	450.00	700.00		
	臨時職員等	(有無)	有	有		
人件費		(千円)	29,345	17,324		
事業コスト		(千円)	63,831	74,044		

R02年度当初積算根拠	<ul style="list-style-type: none"> ・旅費 25千円 ・需要費 29,743千円 市報印刷費 28,888千円ほか ・役務費 66千円 ・委託料 25,585千円 市報点字版作成業務 2,182千円、市報配布業務 22,919千円、市報録音版作成業務 484千円 ・使用料及び賃借料 1,200千円 広報紙ソフトウェア使用料 632千円ほか ・負担補助金及び交付金 101千円 日本広報協会負担金 42千円、県広報研究会負担金 26千円、講習会受講料 32千円
-------------	---

予算の方向性	理由
維持	

方向性	
市民ニーズ	4 十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み	
進捗状況	4 計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか	
市の関与	2 今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について	
優先度	2 継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか	

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報								
事務事業名	004 シティプロモーション事業							
戦略プラン	IV	3	2	シティ・プロモーションの推進	担当部課	市長公室広報戦略課		
総合戦略	III	1	(6)	国際化の推進	係名	移住・定住促進係		
	III	2	(3)	シティプロモーションの推進	新規・継続	継続		
予算科目	01-020104-12 シティプロモーションに要する経費				事業分類	任意的事務		
要求区分				事業期間	市民参加	<input checked="" type="checkbox"/> 共有、理解 <input type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 評価・検証		
個別計画						事業体制	一部委託	
根拠法令					市長公約			
概要								
事業の目的				事業の概要				
全国的に人口減少が進展する中、つくば市の持続的な発展のため、つくば市の魅力を戦略的効果的に発信し、一層のイメージアップを図り、観光誘客をはじめ交流人口や関係人口を増加させ、東京圏からの若年層や子育て世代の流入を図っていく。				<ul style="list-style-type: none"> ・ SNS等を活用した情報発信を行う。 ・ 市民協働で、シティプロモーション事業を実施する。 ・ 職員のプロモーションスキルアップのためセミナーを開催する。 ※行政改革アクションプラン「85 オールつくばによるプロモーションの推進」、「88 プロモーションセミナーの開催」該当事業				
評価								
事業計画				活動実績				
<ul style="list-style-type: none"> ・ SNSで高いエンゲージメントが期待できる投稿記事や質の高い動画等の提供、ハッシュタグの改善などを図る。 ・ 大学生協働事業を実施し、若者視点で効果的な情報発信を実施する。 ・ 職員向けのスキルアップ、意識啓発事業を実施する。 ・ まちづくりアドバイザーからの助言を受けながら、つくば市の魅力を効果的にPRする。 				<ul style="list-style-type: none"> ・ SNSによる情報発信を実施 →Facebook 591件投稿 (いいね数 9,608) →Instagram 105投稿 (フォロワー数 2,667) フォトキャンペーン 922件 (3/6~3/22実施) →ツイッター 935投稿 (フォロワー数 45,521) ・ 大学生協働事業「つくジェニックMAP」発行 (15,000部) ・ 市ブランドイメージの統一を図るために、各部局等に「広報担当者」を配置するとともに、職員向けプロモーションセミナーを開催 (全4回 161人参加) 				
成果				課題				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 各課等の担当者へSNS投稿権限を付与し、担当イベント等の記事作成・情報発信を任せただことで、運営面での効率化が図られた。 ・ 市民協働で市の魅力を多くの方に発信できた。 ・ プロモーション分野において実績のある講師によるセミナーにより、職員の意識向上が図れた。 				<ul style="list-style-type: none"> ・ 動画やSNS等による報発信手法のニーズが高まりから、課員の動画編集、SNS投稿等のスキルアップが必要。 ・ SNSは、投稿内容等に批判的な対応 (投稿) をされやすく、その対応を誤ると炎上につながるため、担当職員のネットリテラシーを高めることが必要。 				
改善目標 (R02年度にむけて)								
<ul style="list-style-type: none"> ・ 動画編集、SNS投稿、各課チラシ等へのアドバイスなど専門的なスキルアップを図るため、課内研修やOJTを実施する。 ・ 各部局等の「広報担当者」や庁内職員を対象とした、広報力向上セミナー等を継続して実施し、SNSの円滑な運用等ネットリテラシー等の向上を図る。 								
指標の推移								
1	指標名	つくば市公式Facebookつくばファンクラブ いいね数 (件)					成果指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	8,944.0	9,838.0	10,000.0
	実績	0.0	5,133.0	7,392.0	8,380.0	8,911.0	9,608.0	0.0
	指標の概要							
2	指標名	職員向けプロモーションセミナー開催数 (回)					活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0
	実績	7.0	4.0	6.0	4.0	2.0	4.0	0.0

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	6.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	6.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	11,167	0	0	0
事業費計		(千円)	11,167	0	0	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	1.00	1.00		
		時間外勤務 (時間)	66.00	420.00		
	臨時職員等	(有無)	有	無		
人件費		(千円)	7,221	7,817		
事業コスト		(千円)	18,388	7,817		

R02年度当初積算根拠	・報酬	3,600千円	アドバイザー報酬
	・報償費	12千円	職員向けセミナー講師謝礼
	・旅費	337千円	
	・需用費	889千円	つくジェニックMAP印刷代 123千円ほか
	・役務費	727千円	携帯電話料 592千円ほか
	・委託料	2,782千円	プロモーション専用HP運営管理 296千円ほか
	・使用料及び賃借料	172千円	PC賃借料 77千円ほか
	・備品購入費	216千円	図書備品 124千円ほか

予算の方向性	理由
--------	----

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報											
事務事業名	013 移住・定住促進事業										
戦略プラン	IV	3	2	シティ・プロモーションの推進			担当部課	市長公室広報戦略課			
総合戦略	III	2	(2)	移住・定住の推進			係名	移住・定住促進係			
	III	2	(3)	シティプロモーションの推進			新規・継続	継続			
予算科目	01-020104-14			移住・定住促進に要する経費						事業分類	任意的事務
要求区分				事業期間			市民参加	<input checked="" type="checkbox"/> 共有、理解 <input checked="" type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input checked="" type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 評価・検証			
個別計画											
根拠法令							事業体制	一部委託			
							市長公約				
概要											
事業の目的					事業の概要						
東京圏に在住、在勤している若者世代をターゲットとして、生活関連情報等を提供し、移住定住促進を図る。 つくば市の関係人口創出を図る。					<ul style="list-style-type: none"> 移住・定住に関する施策を実施する。 転入者、転出者データを収集・分析する。 情報発信のツールを整備する。 関係人口創出事業を実施する。 						
評価											
事業計画					活動実績						
<ul style="list-style-type: none"> 移住・定住に関する施策を実施する。 転入者、転出者データを収集・分析する。 情報発信のツールを整備する。 関係人口創出事業を実施する。 					<ul style="list-style-type: none"> 移住定住促進パンフ「TSUKUBA LIFE」5,000部印刷、配布 移住支援金「わくわく茨城生活実現事業」の整備（国1/2、県1/4、市1/4） 東京圏からの転入者、若者世代の転出者等のデータ収集、分析を実施 市の先駆的な取組を紹介する「TSUKUBA TOMORROW LABO」ランディングページの運営及びパンフレットの5,000部増刷、配布 関係人口の創出を図る「Tsukuba STEAM Building」を開催 						
成果					課題						
<ul style="list-style-type: none"> 「TSUKUBA TOMORROW LABO」では市の先駆的な取組を広く発信・周知し、イベントの訴求力向上及びより効果的なプロモーションを実施することができた。 「Tsukuba STEAM Building」では都内の大学生や高校生もスタッフとして参加し、関係人口を創出することができた。 					<ul style="list-style-type: none"> 移住・定住者については、TX沿線開発や各種プロモーションにより、沿線開発地域や中心市街地の人口は着実に増加している。一方で、一部の周辺地域の人口は減少傾向である。 						
改善目標（R02年度にむけて）											
今後は、周辺地域への人の流れを作るため、庁内関係課等と連携し周辺地域のイベントなどの魅力ある情報を発信するとともに、地域と地域外等の方々の交流機会を設けることで、移住・定住希望者の獲得や、関係人口の創出・拡大に繋げていく。											
指標の推移											
1	指標名	東京圏からの転入者数					(人)		成果指標		
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度			
	目標値	0.0	3,921.0	3,999.0	4,077.0	4,155.0	4,233.0	4,311.0			
	実績	3,843.0	4,194.0	4,221.0	4,561.0	4,537.0	4,617.0	0.0			
	指標の概要										
2	指標名						()				
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度			
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	5,243	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	5,257	0	0	0
事業費計		(千円)	10,500	0	0	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.50	1.40		
		時間外勤務 (時間)	75.00	420.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	3,716	10,531		
事業コスト		(千円)	14,216	10,531		

R02年度当初積算根拠	<ul style="list-style-type: none"> ・ 需用費 290千円 つくばスタイルプラス印刷代 224千円ほか ・ 委託料 2,825千円 つくばスタイルプラス編集 ・ 負担金補助及び交付 6,633千円 わくわく茨城生活実現事業における移住支援金 6,600千円ほか

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		